

30【P1】Ⅱ-220

岡山治験ネットワークに対する依頼者の意見

○黒田 智¹, 二神 幸次郎¹, 吉岡 睦世², 定金 典明¹, 福田 哲也³, 五味田 裕¹(¹岡山大病院薬,²岡山大病院看護,³岡山大医)

【目的】岡山大学病院治験センターに平成14年1月より地域治験支援部門が新設された。これまで診療科が受託してきた治験をグループとして受けるため、並びに地域医療機関における治験支援のため、岡山近郊の17医療施設を含む岡山治験ネットワークを構築した。今回、治験依頼者を対象に、岡山治験ネットワークについてのアンケート調査を行ったので報告する。

【方法】平成15年10月22日に岡山治験ネットワークに関する内容を含む、治験依頼者への説明会を開催した。その際、参加者へアンケート調査を実施した。

【結果および考察】治験説明会への参加者は製薬企業・CROの開発担当者が68名、SMO関係者が2名であった。アンケートに対する回答について、製薬企業・CROの開発担当者58名、SMO関係者1名から回答が得られた(回答率84.3%)。本院と他施設と連携した治験の依頼について、「申請する予定がある」が3人、「申請する可能性がある」が26人であり、岡山治験ネットワークが高く評価されていると考えられた。岡山治験ネットワークにおいて治験を実施していく上で危惧される点として、「担当医師の治験教育」、「緊急時の対応」、「治験経費の高騰」、「治験事務局の問題」といった意見が多く見られた。また、今後の要望として、「申請窓口の一本化」、「IRB一括審議」、「SOPの統一」、「開業医の取り込み」といった意見が挙げられた。今後、実績を積みながら、これらの要望を踏まえて、岡山治験ネットワークの推進を図っていきたいと考えている。